



2022年

12月8日(木) 13:30~16:00

於: 日比谷コンベンションホール

WAW! 2022
WAW! ウィークス
公式サイドイベント



シンポジウム

地域からジェンダー平等を ~都道府県版ジェンダー・ギャップ指数をてこに

●参加費無料 ●オンライン配信あり

2022年春、共同通信が事務局を務める「地域からジェンダー平等研究会」は都道府県版ジェンダー・ギャップ指数を試算、公表しました。この指数で地域ごとの男女平等の現状が可視化され、各地方紙でそれぞれの課題改善へのアプローチを考える報道キャンペーンが広がりました。来年春の統一地方選に向け、政治や行政分野のジェンダー平等実現について考えるシンポジウムを開催します。

パネリスト



片山善博氏 元鳥取県知事、大正大学教授・地域構想研究所長

東京大卒業後、自治省入省。1999年から鳥取県知事(2期)。鳥取県庁で「女性に庶務ばかりさせない」との考えを明確に示し、それまで男性が中心だったポストへの配置を進め、女性活躍を推し進めた。行政分野でのジェンダーギャップ解消のけん引役として知られる。



岸本聡子氏 杉並区長

日本大在学中から国際青年環境NGO A SEED JAPANに参加し、卒業後同法人有給専従スタッフ。2001年オランダに移住。03年国際政策シンクタンクNGOトランスナショナル研究所研究員。22年に帰国し7月から杉並区長。同区で初めての女性区長を務める。



三浦まり氏 上智大法学部教授

カリフォルニア大バークレー校でPh.D.。東京大社会科学研究所機関研究員等を経て2010年より現職。「ジェンダーと政治」研究の第一人者。都道府県版ジェンダー・ギャップ指数の試算に携わり、地方から日本のジェンダー平等の底上げを図る重要性を説く。



竹内明香氏 上智大経済学部准教授

一橋大で博士号取得。日本銀行金融研究所エコノミスト等を経て2012年上智大経済学部助教、14年より現職。統計経済学が専門。都道府県版ジェンダー・ギャップ指数算出にあたり、統計処理を担当した。



小安美和氏 (株) Will Lab代表取締役、W20日本共同代表

東京外国語大卒業後、日本経済新聞社入社。2005年リクルート入社。13年リクルージュブズ執行役員、15年子育てしながら働きやすい世の中を共に創るiction!プロジェクト推進事務局長。16年同社退社。全国各地で女性の就労支援や女性リーダー育成に取り組む。



[モデレーター] **山脇絵里子氏** 共同通信社会部長

東京外国語大卒業後、共同通信社入社。2001年から社会部に配属され、厚生労働省や東京都庁などを担当。ストーカーやDV、女性の政治参画といったジェンダーを巡る課題に長年取り組んでいる。ニュースセンター整理部長、社会部副部長を経て、21年から現職。

※詳細、申し込み方法は次頁をご確認ください。

シンポジウム 地域からジェンダー平等を ～都道府県版ジェンダー・ギャップ指数をてこに

開催概要

【日時】 2022年12月8日（木） 13：30～16：00 ※12：45受付開始

【参加費】 無料

【方式】 リアルとオンラインのハイブリッド方式で開催

【会場】 日比谷コンベンションホール（日比谷図書文化館）
東京都千代田区日比谷公園 1 - 4

【登壇者】 片山善博（元鳥取県知事）、岸本聡子（杉並区長）、三浦まり（上智大教授）、竹内明香（上智大准教授）、小安美和（W20 日本共同代表）
【モデレーター】 山脇絵里子・共同通信社会部長

【運営】 <主催>（株）共同通信社
<共催> 地域からジェンダー平等研究会
<後援> 内閣府男女共同参画局

男女がともに活躍できる社会へ



内閣府
男女共同
参画局

★本シンポジウムは政府主催のジェンダー平等を目指す国際女性会議WAW! 2022 WAW!ウィークスの公式サイドイベントです。



【申込方法】 QRコードを読み取り、お申し込みください。

【申込締切】 11月20日（日）

【定員】 会場の定員は200名です。



※ご参加申込者が定員を超えた場合は、抽選にて会場参加者を決定し、そのほかの方にはオンラインでの視聴用アドレスをお送りいたします。ご当選者にはメールにて参加証をお送りいたします。オンライン参加者には視聴用URLをメールにてお知らせいたします。

お問合せ先



シンポジウム「地域からジェンダー平等を」事務局

（株）共同通信社 業務推進部内

住所：〒105-7208 東京都港区東新橋1-7-1 汐留メディアタワー

TEL：03-6252-6044 FAX：03-6252-6037

E-mail：gendergap@kyodonews.jp